

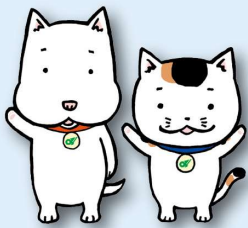
みえのたんけん



みつぶる



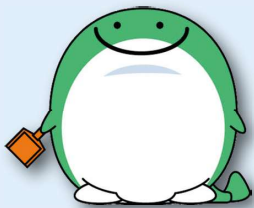
みずたまくん



き~ぼう(犬)・つむぎちゃん(猫)



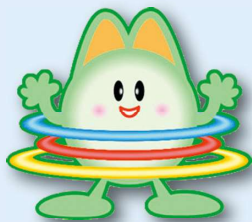
みえびい



ゼロ吉



とばしまえ
鳥羽志摩江さん



いっぴよん



なます博士

JOBY



JOBY(ジョビー)



みえけんちよう
三重県庁キッズサイト
みえけん
三重県のこと
が
もっとくわしくわかるよ

① み え けん ちよう 三重県庁へ ようこそ！

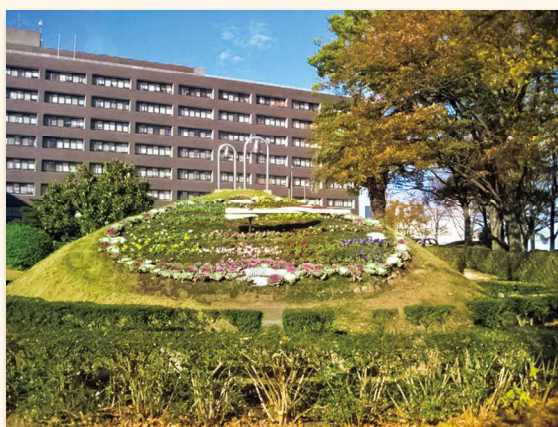
県庁には、多くの人がいりいろな用事で訪れます。正面の大きな建物（本庁舎）は、地上9階地下1階で、高さは41.5mあります。正面入り口南側には、花時計があります。



(左：三重県議会 議事堂、右：本庁舎)



(知事室)



(花時計)



三重県応援
キャラクター
うさぎの助

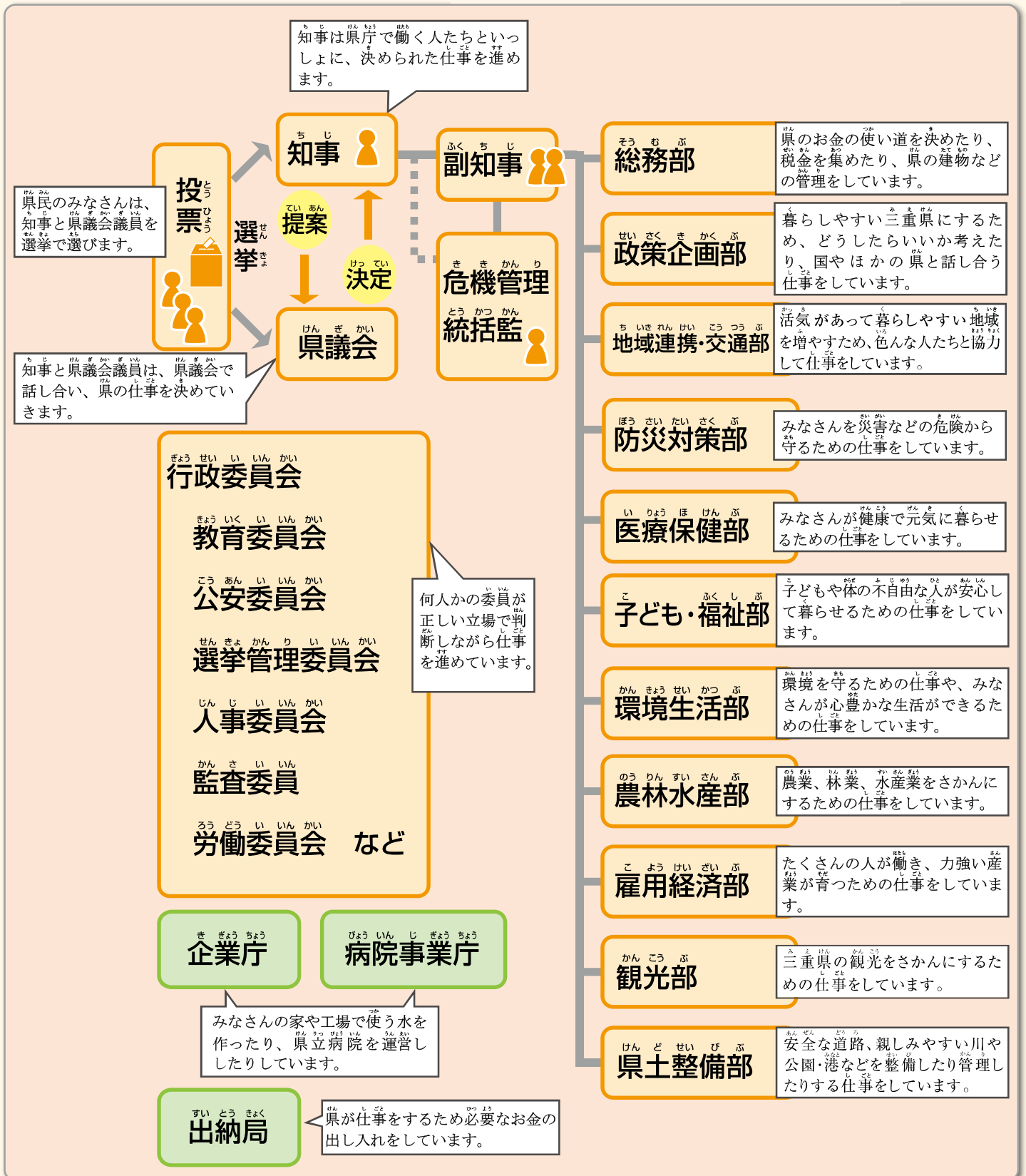
©PSP/T-e



(県民ホール)

② 県庁のしくみと仕事は、どうなっているの？

県庁では、県民のみなさんの生活が豊かに、そして安心して暮らせるための仕事をしています。三重県全体に関係のある仕事や、一つの市町だけではできない仕事をしています。



③ 県庁の屋上からながめてみよう

県庁の屋上からは、たくさんの建物を見ることができます。三重県庁本庁舎は1964年（昭和39年）に建てられた約60年前の古い建物です。それに比べると南側の三重県議会議事堂や三重県警察本部は、新しい建物です。



北

津市内で一番高い建物・アスト津や三重県総合文化センター、三重県総合博物館(MieMu)があります。遠くには鈴鹿山脈がそびえています。



南

正面に三重県警察本部が大きく見え、その右手奥には津市役所、リージョンプラザがあります。左手の海側には、造船所の赤と白のクレーンがたくさんあります。



東

伊勢湾が大きく広がり、その向こうには愛知県の知多半島・渥美半島があります。天気の良い日には中部国際空港セントレアを離発着する飛行機の様子も見られます。



西

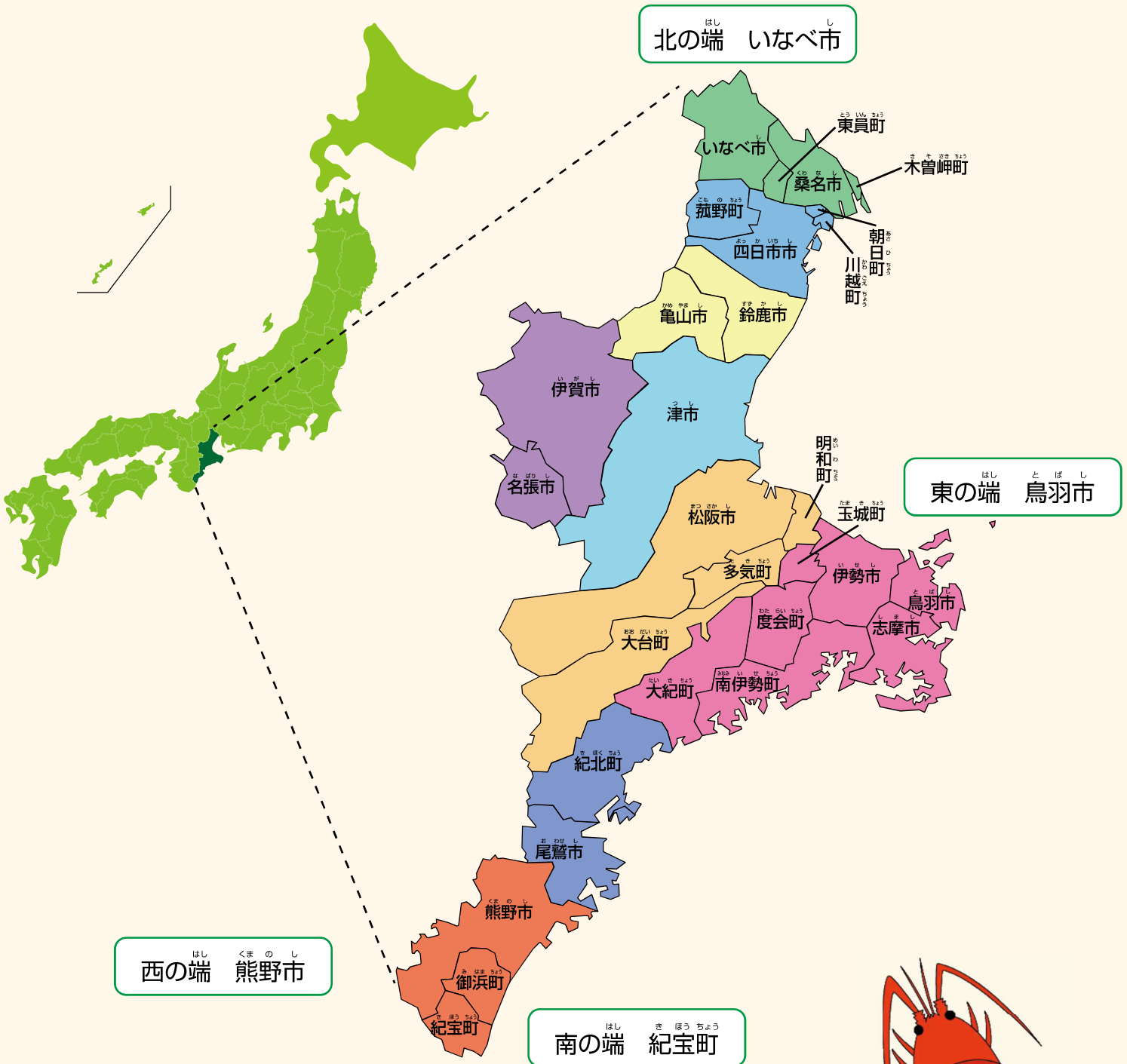
右手には津市の山、長谷山と経ヶ峰があります。また、伊勢自動車道が南北に走っています。その向こうには青山高原がなだらかに広がり、たくさんの風力発電の風車があります。

④ みえけん 三重県って、どんなところ？

位置 三重県は日本列島のほぼまん中の太平洋側にあり、東西に80 km、南北に170 kmの細長い形です。

面積(広さ) 約5,774 km²

人口(人数) 約177万人 (令和2年国勢調査)



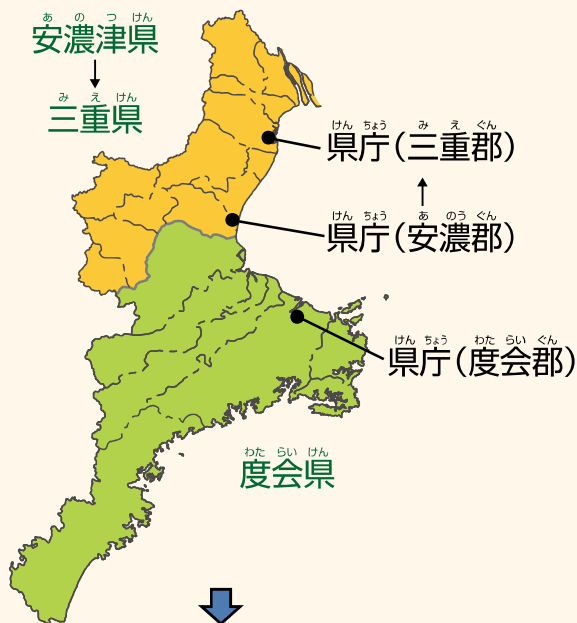
- 【三重県クイズ】**
1. 三重県には、市や町がいくつあるの？
 2. 三重県の中で、一番広い(面積が大きい)市はどこ？
 3. 三重県の中で、一番人口(住んでいる人数)が多い市はどこ？
 4. 桑名市から熊野市まで高速道路を使って車で行くとだいたい何時間かかる？



⑤ どうして「三重県」という名前なの？

今からおよそ150年前の1871年（明治4年）、今の三重県はもともと、「安濃津県」と「度会県」という二つの県に分かれていました。

安濃津県の県庁は、「安濃郡」津（今の津市）に、度会県の県庁は、「度会郡」山田（今の伊勢市）に置かれました。



1872年（明治5年）、「安濃津県」の県庁が「三重郡」四日市（今の四日市市）というところに移された時、その名前をとって「安濃津県」は「三重県」という名前に変わりました。

なお、「三重郡」の「三重」は日本武尊（ヤマトタケルノミコト、『古事記』では倭建命と書く）がこの地に来たときに「我が足三重の勾なして、いたく疲れたり。」（わたしの足は三重に曲がったように、とても疲れている。）と語り、それ以来この地を「三重」と呼ぶようになったとも伝えられています。

その後、県庁は津に戻りますが、県名はそのままでした。



1876年（明治9年）4月18日に「三重県」と「度会県」がくっついて、今の三重県が生まれました。

この、三重県が生まれた日を記念して、4月18日は三重県の「県民の日」と決められています。



明治時代に建てられた、三重県庁の建物です。
※今は、愛知県犬山市（博物館明治村）へ移されています。

【4ページ三重県クイズの答え】

1. 市が14、町が15の合計29です。
2. 津市です。(711.18km²)
3. 四日市市です。(約30万5千人) ※令和2年国勢調査
4. だいたい2時間くらいです。(桑名東IC～熊野大泊IC)

⑥ 三重県のおいしい食べ物は？

三重県は、昔から豊かな海や山に恵まれて、いろいろなおいしい食べ物があります。みなさんは、食べたことがありますか？



まつばん牛



伊勢えび



的矢かき



あわび



伊勢茶



ひじき



南紀みかん



あのりふぐ



伊賀牛



熊野地鶏



岩がき



桑名のはまぐり



伊勢たくあん



あおさのり



伊賀米

⑦ 三重県ですぐれた伝統工芸品は？

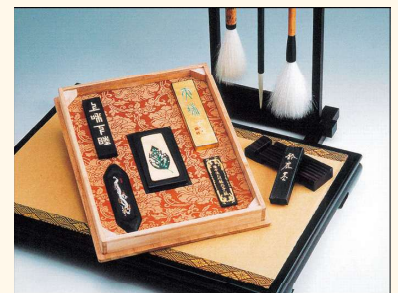
「伝統工芸品」とは、昔から受け継がれた技などで作られた工芸品です。三重県では、5つの伝統工芸品が国の指定を受けています。



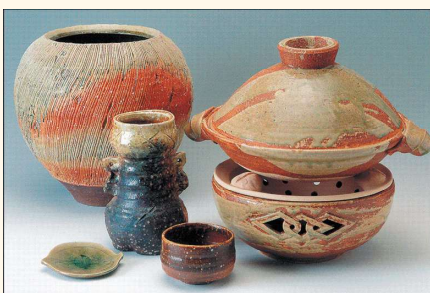
よっかいちばんこやき



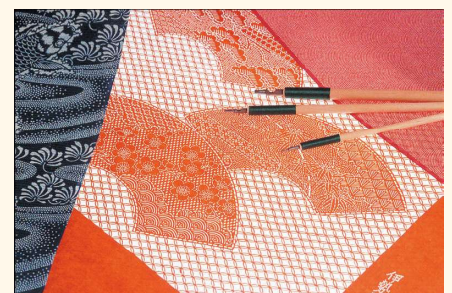
伊賀くみひも



鈴鹿墨



伊賀焼



伊勢形紙

⑧ みえけん 三重県のシンボルってなに？

木や獣、マークなど、いろいろなものが三重県をあらわす「シンボル」として決められています。ぜひ覚えてくださいね。



三重県章 (昭和39年4月20日制定)

三重県の「み」を力強くデザインしたもので、まん中の白い丸は、特産品の真珠を表しています。



県の花 ハナショウブ (昭和44年9月22日指定)

古くから三重県にあった「ノハナショウブ」を改良したもので、5月から6月にかけて、白・紫・ピンクなどの色の花が咲きます。



県の獣 カモシカ (昭和39年11月24日指定)

ウシ科に属し、オス・メスともに角を持っています。主に山のがけなどに住み、国の特別天然記念物に指定されています。



県の鳥 シロチドリ (昭和47年6月20日指定)

雀よりやや大きく、姿が美しく鳴き声のかわいい鳥で、春夏はペアで、秋冬は群れで行動します。一年中海岸や河口、海岸に近い水田でよく見かけられます。



県の木 神宮スギ (昭和41年10月20日指定)

三重県は杉が育ちやすいところとして知られ、なかでも見事に伸びた伊勢神宮の杉は、五十鈴川とともに、広く人々に親しまれています。



県のさかな 伊勢えび (平成2年11月2日指定)

伊勢えびは甲殻類で、魚ではありませんが、三重県の代表的な水産物の一つです。縁起ものとしてお正月やお祝いの席に広く利用されています。

名前

三重県広聴広報課

津市広明町13番地

電話 059-224-2647

電子メール soudan@pref.mie.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.mie.lg.jp/>